

1月14日

05



将来の夢などについて堂々と発表する児童

児童生徒が夢や思い熱弁

市文化会館で「第36回串間市青少年の声を聞く会」が行われました。市内の全小中高校の代表18名が登壇し、将来の夢や地元への思い、日頃の生活で感じていることなどを発表。発表者は緊張しながらも堂々と話し、それぞれの発表に対し、来場者から大きな拍手が送られていました。



都井小学校6年
ときとう
時任 ひなのさん

発表はとても緊張しました。皆さんにうまく伝えるのは難しかったですが、約1カ月前から家や学校で練習してきた成果は出せたと思います。

赤いきんかん「あかたま」

12月19日、JA串間市大東の清水組合長ら4人が市役所を訪れ、12月に初出荷された通常のきんかんより赤みの強い新品種「あかたま」を市長に贈呈しました。まだまだ生産量は少ないそうですが、今後串間発のブランドとして全国展開していきたいと話されていました。



あかたまを贈呈したJA串間市大東の清水組合長(左)と島田市長



曾於郡大崎町在住
よしざき ひろし
吉崎 浩志さん
いっきん あさひ
一希くん 朝陽くん

模擬競りに参加しました。前は要領が分からず参加できませんでしたが、今回は新鮮な魚を落れました。子どもたちも喜んでいたのでよかったです。

1月14日

04

武道3競技で千人が熱戦

市民総合体育館などで「第37回南九州串間武道大会」が開催されました。実施された四半的弓道、剣道、弓道の3競技に県内外から約1000人が参加し、普段の稽古で培った成果を披露。選手たちは、対戦相手や的に向かって集中力を高め、熱戦を繰り広げていました。



真剣勝負を繰り広げる選手たち



串間中学校2年
かわの かりん
河野 夏鈴さん

弓道競技に出場しました。地元開催の大きな大会で良い結果を出したかったのですが、予選で敗れてしまい残念です。次の試合に向けてまた頑張ります。

1月21日

06



模擬競りに参加し市場の雰囲気味わった来場者ら

新春恒例初競りにぎわう

市漁協荷さばき所で新春恒例の「第16回新春串間市漁協初競り」が行われました。来場者が市場の雰囲気味わえる模擬セリでは、新鮮な魚介類が詰められた22箱が競りに掛けられ、次々落札されました。他にもあら汁の振る舞いや豪華景品が当たる抽選会、同時開催の朝市も大盛況でした。

12月19日

01



道の駅について意見を交わしたパネリストたち

シンポジウムで道の駅理解

市文化会館で3年後にオープン予定の道の駅について考えるシンポジウム「教えて! 道の駅」が開催されました。市民ら約370人が参加。参加者は、講演会やパネルディスカッションを通じ、中心市街地まちづくり計画についての経緯や概要、進捗状況などを聞き、理解を深めました。

1月8日

03



防災へりあおそらも参加した一斉放水

一斉放水で防災防火誓う

蔵元橋河川敷で新春恒例の「串間市消防出初式」が行われました。土居団長以下、6分団42部378名の消防団員が参加し、行進して入場。一斉放水では、冬空に鮮やかな水のアーチを描き、気持ちを新たにしました。式典では永年勤続などの功労者に表彰が行われました。



串間市消防団長
どい とおる
土居 亨さん

昨年は自然の驚異を感じた一年でした。今年も市民の皆さまの安心安全を守るために、団員一丸となって訓練に励みたいと思いますのでご協力をお願いします。

くしま プレイバック

12月19日~1月21日

まちで起こったあんなことやこんなこと。串間の1カ月を振り返ります。



福島高校1年
かどがわ なつみ
門川 菜摘さん

話を聞いて考えていた以上に計画が進んでいてびっくりしました。道の駅計画には福高生も参加していると聞いたので、積極的に関わっていききたいですね。

12月24日

02

いこいの里待望の再開

9月から休館となっていた「串間温泉いこいの里」が市の直営で再開しました。この日は入浴無料のサービスや地場産品のプレゼント、焼き芋や牛乳などの振る舞いもあって、温泉の再開を待ち望んだ市民らが次々と訪れ、「美人の湯」を楽しんでいました。



営業再開初日は約500人が来館



大東地区・上井牟田
きむら さつきさん
えとう ちえこ
木村 サツキさん 江藤 智恵子さん

再開を待ちわびていました。日頃から週に1、2回は温泉に入っていたので再開してうれしいです。泉質のいい温泉なのでまた定期的に入りに行きます。